

新規事業採択時評価結果（平成23年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：三浦 真紀

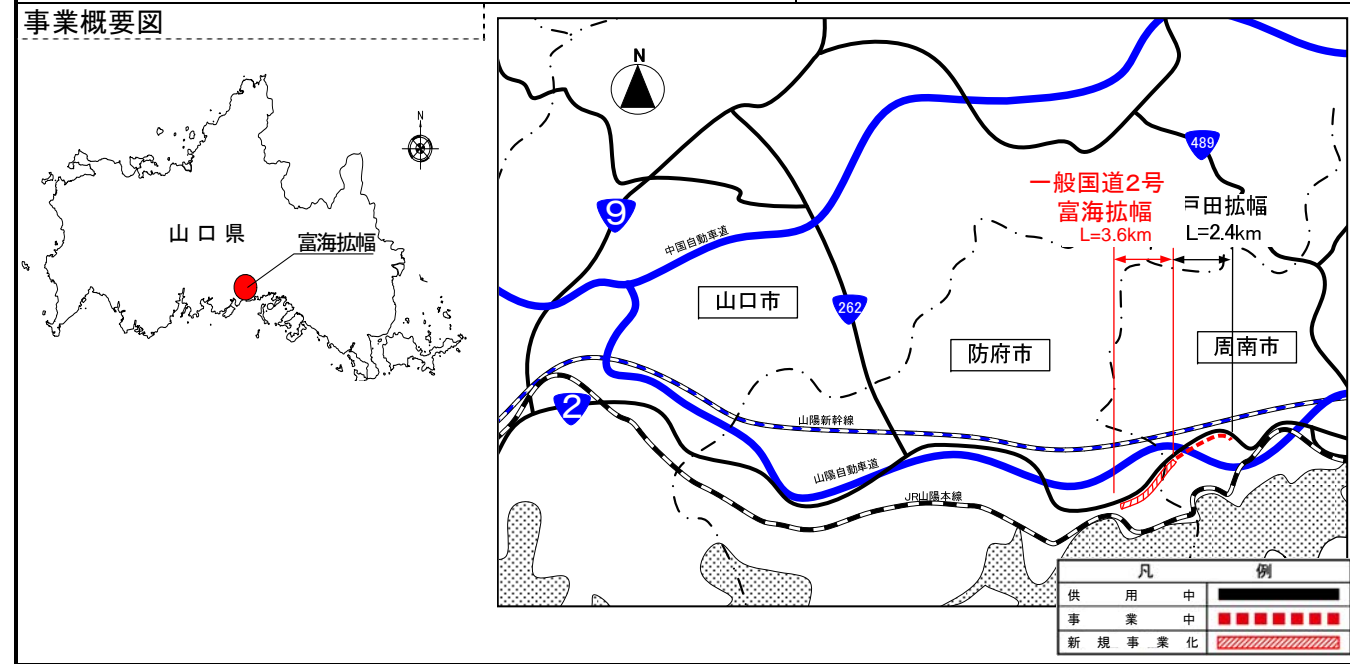
事業の概要

事業名	一般国道2号 富海拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：山口県周南市戸田 至：山口県防府市富海	延長	3.6 km		

**事業概要**  
一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。  
富海拡幅は、周南市と防府市を連絡する唯一の一般国道であり、周南市戸田から防府市富海に至る延長約3.6kmの4車線拡幅事業である。

**事業の目的、必要性**  
当該区間の整備により、交通容量の確保及び線形不良箇所の解消により、交通渋滞の緩和及び交通事故の削減等が図られる。

全体事業費：約90億円  
計画交通量：約45,500台/日



**関係する地方公共団体等の意見**  
【山口県知事】・予算化に同意  
・渋滞緩和や交通事故減少等に大きく貢献

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
・新規事業化については妥当である  
・3便益による評価には限界もあるため、それらでは表現できない効果を適切に評価していくべき

**事業採択の前提条件**  
■費用対便益：便益が費用を上回っている  
■手続きの完了：都市計画決定済み(現在、都市計画変更手続き中「H22年度末決定予定」)

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.4	総費用：83億円 （事業費：72億円 維持管理費：11億円）	総便益：278億円 （走行時間短縮便益：268億円 走行経費減少便益：10億円 交通事故減少便益：0.07億円）	基準年：平成22年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.5 (交通量 -10%)	B/C=3.9 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=3.1 (事業費 +10%)	B/C=3.7 (事業費 -10%)		
		事業期間変動	B/C=3.2 (事業期間 +20%)	B/C=3.5 (事業期間 -20%)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	・4車線化整備により交通容量の増大により、交通渋滞の緩和が見込まれる。 【混雑度（交通量）】 国道2号富海地区 [現況] 2.0 (31,359台/日) ⇒ [整備後] 1.0 (45,500台/日)		
		事故対策	○	・線形不良箇所の解消、及び中央帯の設置により車線逸脱等を防止することで正面衝突等の重大事故の削減が期待される。 【死傷事故率】163.8件/億台・km (単路部 [H17-H20]) 【線形不良箇所】 [現況] 4箇所 ⇒ [整備後] 0箇所		
		歩行空間	○	・歩道幅員の拡大により、快適な歩行空間を確保できる。		
	社会全体への影響	住民生活	○	・交通混雑の緩和により、地域住民の円滑な移動が確保できる。		
		地域経済	○	・信頼性の高いネットワークの形成により、物流の効率化が見込まれる。		
		災害	○	・山陽自動車道が通行止め時に、代替路としての機能が強化。		
環境		-	・注目すべき影響はない。			
地域社会	○	・周南市と防府市の地域連携強化が期待される。				
事業実施環境	○	・都市計画決定済み(現在、都市計画変更手続き中「H22年度末決定予定」) ・山口県知事や防府市長等から要請・要望が行われており、地元の期待は大きい。				

対応方針

費用便益比が3.4と便益が費用を上回るとともに、都市計画決定済み(現在、都市計画変更手続き中「H22年度末決定予定」)であることから事業採択の前提条件が確認できる。  
また、交通渋滞の緩和、交通事故の削減、及び物流の効率化が見込まれるなど、当該事業の必要性・効果は高いと判断できる。以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。